

2019 年度第2回産業衛生技術部会拡大幹事会 議事録(案)

日時: 2019 年 9 月 14 日

場所: 仙台国際センター1F 小会議室 2 (第 7 会場)

出席者: (敬称略)

幹事: 橋本晴男、池田和博、森洋、中村憲司、田畑正司、城憲秀、中元健吾、圓藤陽子、田口豊郁、
伊藤昭好、保利一、宮内博幸

企画運営委員: 落合孝則、久保田裕仁、津田洋子、中原浩彦(記)

議題1: 産業衛生技術部会担当理事について

- ・ 担当理事からの挨拶(土肥理事)
 - 今後 COI ガイドラインが作成される予定。以下が改訂のポイント。
 - ◇ 抄録にも COI 記載を求める。
 - ◇ 製品名は特定しないようにする必要があるが、発表内容上製品名を出す必要がある場合は、企画運営委員長が宣伝でないことを認めた場合は可とする。
 - なお、もう一人の担当理事である上島(かみじま)先生は今日のご都合で欠席された。
- ・ 理事会情報 (橋本部部长)
 - 理事会で以下の決定があったことが紹介された。
 - ◇ 新幹事は4月に決まるが、5月の幹事会で部部长を新幹事で決定することはタイミング的に難しい。そこで、旧幹事で内定をしておき、5月の幹事会で承認することとする。
 - ◇ 70 歳定年制について、任期中に 70 歳を過ぎても、任期満了までは延長を認める。

議題2: 第29回全国協議会(仙台)での部会主催行事について

- ・ 第29回全国協議会(仙台)で実施完了、及び実施予定イベントの説明がなされた。

議題3: 第93回日本産業衛生学会(旭川)での企画案について

- 産業衛生技術フォーラム:「現場における有効な熱中症防止対策」
 - ◇ 企画が正式に登録済であることが紹介された。
- 専門研修会:「遠隔管理の産業衛生分野への応用」
 - ◇ 産業医の遠隔面談、熱中症モニタリング、ばく露測定への応用など、遠隔管理への期待が紹介された。

議題4: 2020 年度予算案について

- ・ 会計担当から予算案について説明され、了解が得られた。

議題5: 奨励賞について

- ・ 選考のスケジュールについて、以下の説明があった。(橋本部部长)
 - 12 月末までに部部长に候補者を推薦する。
 - 翌年 2 月までに、表彰委員会で検討し、最終選考する。

- ・ 受賞資格基準について議論があり、以下の修正を行い、幹事の下承を得て最終とすることになった。
 - 「学会会員歴が3年以上であること。」を追記する。
 - 学会発表の定義を明確にし、「学会・各部会または研修会等で発表または論文投稿を原則として3回以上行っている者と記載する。」

議題6: 部会 Web ページのリニューアル

- ・ 部会 Web ページがリニューアルされたことが紹介された。

議題7:その他

(1) 他の部会との共同

- ・ 委員から以下の意見が出た
 - 栄養研究会、心理研究会などの自由集会を、技術部会に誘ってはどうか？
 - 技術部会は、職能混成チームなので、他のグループと共同で活動を進めるべきである。
 - 技術部会として何を指すのかが不明確になっている。地方会との役割も整理して、技術部会として行うコアな骨格を決める必要がある。
- ・ 上記意見を踏まえて、以下を進めることを決定した。
 - 技術部会のコアな部分の議論を、企画運営委員会で深めていく。
 - 来年の全国協議会(鹿児島)で共同開催できるか働きかけを行う。
 - ◇ 心理研究会: 長見先生にコンタクトする(by 遠藤幹事)
 - ◇ 栄養研究会: 大阪市大由田先生にコンタクトする。(by 田畑幹事)

(2) まとめ

- ・ 参加されていた川上理事長から以下のまとめの言葉があった。
 - 学会が理想とする姿を目指していきたいので、技術部会からも意見を出してほしい。
- ・ 終了直後に、川上理事長、土肥担当理事から、心理や栄養など周辺の分野と接触するのは良いが、技術部会のコアは産業衛生技術でありそれは堅持してほしい、との言葉があった。

以上